

【奥尻島地域創生事例】

- ・0 奥尻での取組
- ・1 奥尻島について
- ・2 移動販売車
- ・3 公共ライドシェア
- ・4 なぜヤマト運輸がやるのか



ヤマト運輸株式会社

0.奥尻島について	3
1.奥尻での取組	4
2.移動販売車	5
2-1 サツドラサテライト店・移動販売車のはじまり	6
2-2 移動販売車 - 外観	7
2-3 移動販売車 - 内観	8
2-4 移動販売車 - 一緒にお買い物	9
3.公共ライドシェア ヒト×モノ - 島の暮らしをつなぐ - しまねこワゴン	10
3-1 交通空白解消緊急対策事業について	11
3-2 概要①（目的・取組概要）	12
3-3 概要②（実証運行の内容・今後の展望）	13
3-4 車両について	14
3-5 運用イメージ	15
3-6 乗車実績	16
3-7 アンケート結果	17
3-8 実現に向けたロードマップイメージ（R7年度版）	18
3-9 しまねこワゴン（ライドシェア車両） - 外観	19
3-10 しまねこワゴン（ライドシェア車両） - ヒト エリア	20
3-11 しまねこワゴン（ライドシェア車両） - モノ エリア	21
3-12 しまねこワゴン（ライドシェア車両） - 稼働の様子	22
4.なぜヤマト運輸がやるのか（ヤマトがやる意義）	23
5.最後に…	24
（参考）公共ライドシェアプレスリリース	25
（参考）サツドラ様とのパートナーシップ協定締結	26



0.奥尻島について

奥尻島

- ・ 面積：143km²（川崎市とほぼ同じ広さ・一周65キロ）
- ・ 人口約2,100人、高齢化率約41%
- ・ タクシー：1社のみ（1社1台、1名）、バス：1日9便
- ・ 交通手段が限られ、時間的「交通空白」が発生している
- ・ 島民の買い物や通院、観光客の移動が困難地域



奥尻島へは…

江差町から運航するフェリーで 約2時間10分

函館空港から飛行機で 約30分

丘珠空港（札幌）から飛行機で 約50分

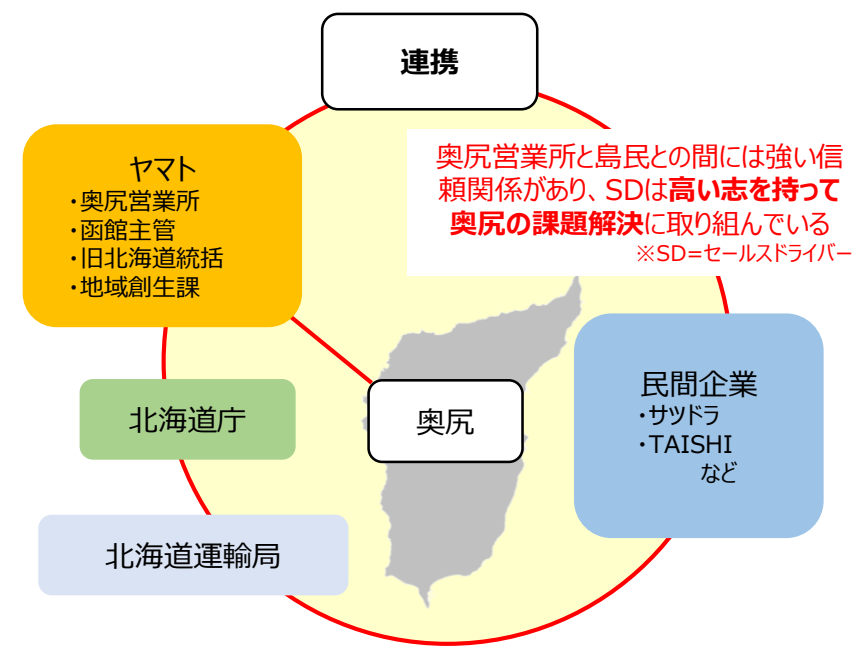


1.奥尻での取組



【ヤマト運輸奥尻営業所】

S D : 5名
事務 : 3名
車両 : 7台



年月	主な取組内容
2016年3月	奥尻町とヤマト運輸が包括連携協定
2021年11月	奥尻営業所で食品・日用品などのサツドラ商品の販売を開始
2022年8月	移動販売専用車でサツドラ商品の出張販売の実証実験開始
2023年8月	大型で冷蔵・冷凍に対応した車両を導入し移動販売を本格的に開始
2024年5月	奥尻町、セコマ、ヤマト運輸が災害時の物資供給に関する協定
2024年	島の未来を変える人材育成ワークショップ（5回）に奥尻営業所のG長出席
2025年8月	「客貨混載型」のライドシェア実証運行開始

2.移動販売車

【初号車】

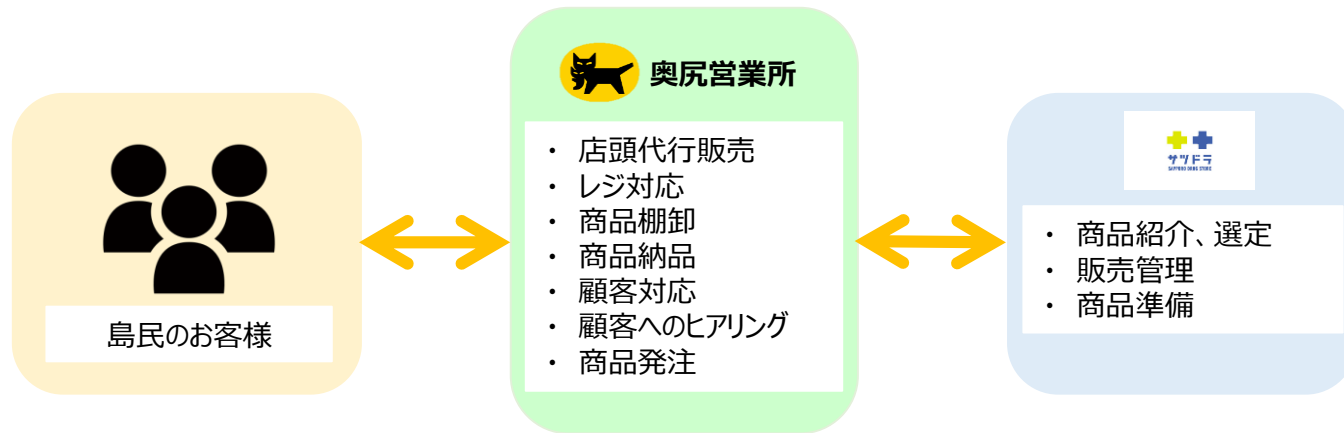


【二号車】（現在車両）



2-1. サツドラサテライト店・移動販売車のはじまり

地域課題解決に向け、サツドラドラッグストア様と協議を行い、まずは奥尻営業所の空きスペースや空き時間を活用し、店舗販売（日用品）を実施（2021年11月13日～現在）



サツドラ SAPPORO DRUG STORE

サツドラ商品、をヤマト運輸があなたのマチで販売します

クール商品の移動販売はじまります！

北部地区

南部地区

大変お待たせいたしました！
今までお取り扱いできなかった、
冷蔵商品・冷凍商品を
皆さまのお近くまで販売に伺います♪

※お買上時のお支払いは現金のみとなります。
EZ/OCはポイント付与のみとなり、お買上の翌日以降にポイントが反映されます
また、販売開始は一部商品のみとなりますので、ご了承ください。

曜日	販売スケジュール	
月曜日	9:00~14:00 北部地区	15:00~17:00 南部地区
火曜日	9:00~14:00 南部地区	15:00~17:00 北部地区
水曜日	9:00~14:00 北部地区	15:00~17:00 南部地区
木曜日	9:00~14:00 南部地区	15:00~17:00 北部地区
金曜日	9:00~14:00 北部地区	15:00~17:00 南部地区

土・日曜日は店舗でのみ販売となります。

お問い合わせ先 移動販売 SD専用携帯 070-7041-7815

営業所での店舗販売と並行して移動困難な方への販売として「移動販売車」運行開始（2022年8月～現在）
ウォークスルー車を改良し、奥尻島内を巡回
島特有の事情とセールスドライバーの空き時間を有効活用



初号車がスタートし約1年、島民の皆さまのご要望を反映し、**冷蔵・冷凍商品に対応した移動販売車**を作り、販売ルート等も再検討
さらに多くの島民に利用頂けるようチラシの作成、商品ラインナップを改良した



2-2. 移動販売車 - 外観



2-3. 移動販売車 - 内観



2-4. 移動販売車 - 一緒にお買い物



3. 公共ライドシェア

ヒト×モノ - 島の暮らしをつなぐ -
しまねこワゴン



3-1.交通空白解消緊急対策事業について

1.補助金について（『交通空白』解消緊急対策事業）

500万円までが定額、超える部分の2/3（上限1億円）を補助
 ただし、車両購入に関わる費用については定額補助の対象外
 本実証運行は奥尻町が採択され、ヤマトは奥尻町から委託を受けている

2.協力金として「車両使用にかかる協力費」と「予約受付にかかる協力費」として一定額が支払われる

(1)車両使用にかかる協力費（目安）

新車価格540万円程度の車両を5年（60か月）で償却する想定のもと、期間中（月あたり9万円程度）を目安に
 6か月間で約54万円（5,400千円÷5年÷12月×6か月＝540千円）

(2)予約受付等の協力に係る費用

1日あたり8時間勤務のうち2割程度の稼働（簡易な受付・案内対応など）を想定し、業務全体として一式36万円（6か月分）を想定

(3)その他（本格運行後の報酬シュミレーション）

移動距離		2.5km	5km	7.5km	10km	12.5km	15km	17.5km	20km	22.5km	25km	27.5km	30km
移動区間例		エリア内 移動			稲穂-奥尻		湯浜-青苗	青苗-奥尻 湯浜-奥尻				青苗-稲穂	
ヤマト運輸 車両管理者 ドライバー	管理費（予約・手配）	<div>検討中</div>											
	燃料費												
	車両修繕費（タイヤ費等）												
	車両償却費（車両購入等）												
	その他（保険料・税等）												
運賃合計													

※ 燃料費、車両修繕費（タイヤ費等）、車両償却費（車両購入費等）、その他（保険料・税）の構成比は「【国土交通省】タクシー及び日本版ライドシェアにおける運賃・料金の多様化検討会（令和6年8月）資料」を参考に設定

3-2.概要 ①

国土交通省「交通空白解消緊急対策事業」の一環として奥尻町が採択されている
ヤマト運輸は奥尻町から委託を受ける形で「**ヒト×モノ -島の暮らしをつなぐ- しまねこワゴン**」として客貨混載型の
公共ライドシェアの実証運行を行う

目的

- ・ 時間的「交通空白」を解消し、島民や観光客の移動利便性を向上させる
- ・ 旅客と貨物を同時に輸送する「客貨混載」サービスを実施し、地域の物流と移動の効率化を図る
- ・ 過疎地域における持続可能な移動・物流モデルの確立を目指す

取組概要

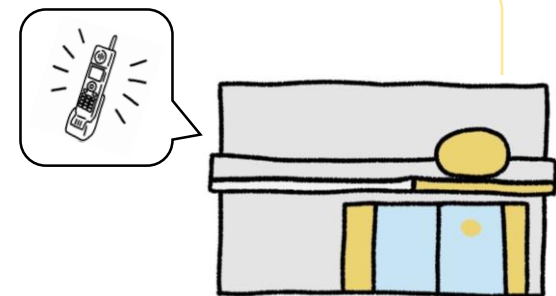
- ・ 奥尻町が「自家用有償旅客運送（公共ライドシェア）」の登録主体
- ・ ヤマトが管理する自社車両と奥尻町が管理する車両の2系統で運行
- ・ 奥尻町が管理する車両は住人参加型で副業や地域貢献ドライバー



3-3.概要 ②

実証運行の内容

- ・ 実施期間：2025年8月29日～12月末
- ・ 運行時間：8:00～19:00
- ・ 乗車運賃：期間中無料（アンケートに協力いただくことを前提に無料送迎）
- ・ 乗車対象：奥尻島民・観光客
- ・ 予約方法：ヤマト運輸 奥尻営業所への電話予約（完全予約制）
- ・ 運行エリア：島内全域



今後の展望

- ・ 2026年以降の本格運行を目指す
- ・ 有償運行に移行（国土交通省の大臣認定講習受講の必要あり）
- ・ 持続可能な移動支援の仕組み構築
- ・ 島民ドライバーの育成・確保

島民の
移動手段として



島内荷物の
集荷や配達



観光客の
移動手段として



3-4.車両について

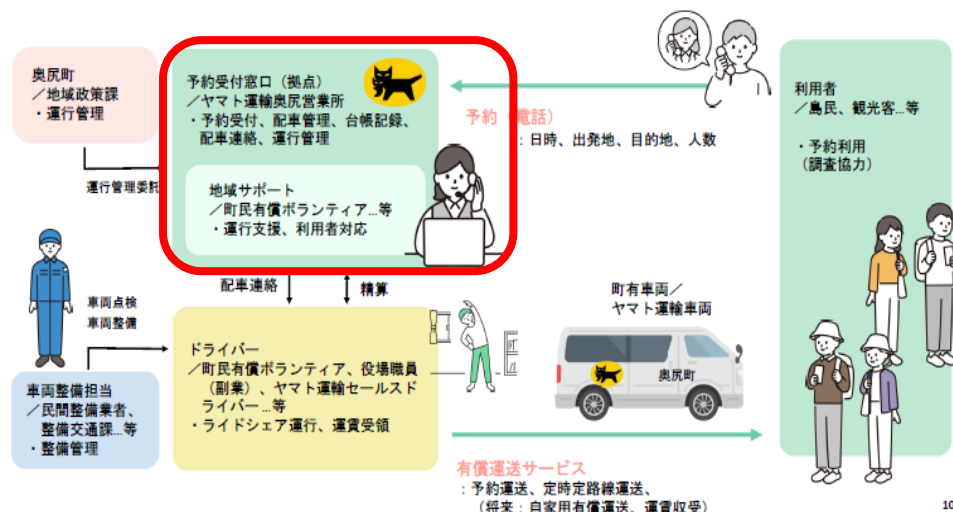
車両

- ・ 貨物用緑ナンバー取得手続き中（手続き完了までは島民の送迎のみを行う）
- ・ 前面にはスピーカーが内蔵されており、災害時の避難誘導などが可能
- ・ 乗車エリアには昇降機があるため、高齢者でも乗り降りが行いやすい
- ・ 貨物エリアは仕切りがあり、乗車エリアとは分離が可能で個人情報漏洩を防ぐ

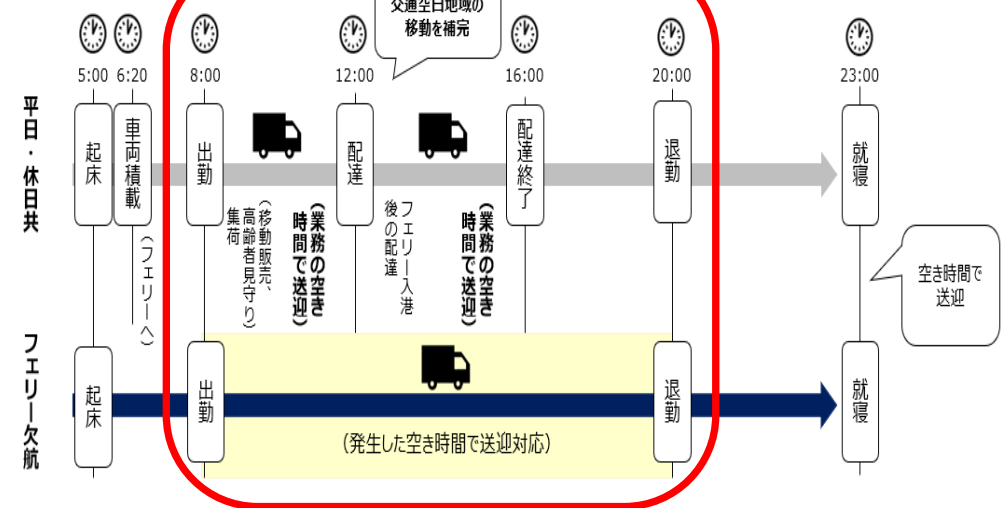


3-5.運用イメージ

～ 運営スキームイメージ ～



配達員の一日



運用イメージ

- ・ 配車業務は奥尻営業所の事務スタッフが担当
- ・ 電話による予約受付や配車調整を行い、運行当日の車両・ドライバーとの連絡も営業所で管理する
- ・ ヤマトのドライバーによる旅客の輸送業務については、通常の集配業務に支障が出ないように時間帯やルールを考慮して実施する
- ・ 運行に従事するドライバーについては、事前に労働時間の管理を徹底し、無理のないシフト設定を行うとともに、ヤマト社内の運行管理者が体調確認やアルコールチェック等を含む安全管理を行う
- ・ 本実証は集配業務の空き時間を有効活用するスキームとして検証するものであり、通常業務の品質を損なわない事を前提に運用を行う

3-6.乗車実績

【関係者外秘】

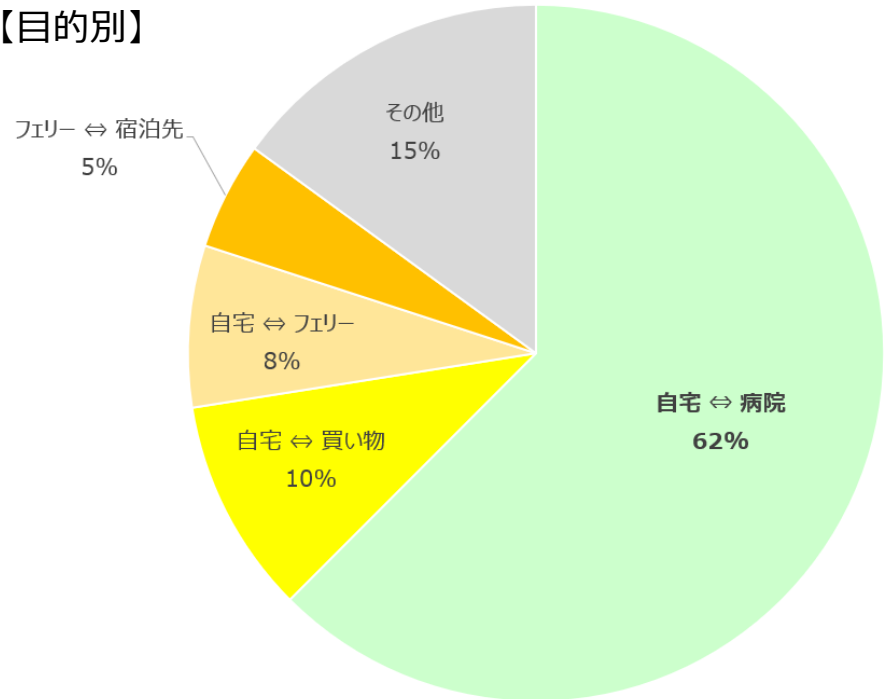
2025年9月12日～10月29日現在

実証運行開始日：2025年9月12日（金）
乗車人数：9月19名・10月34名 計53名

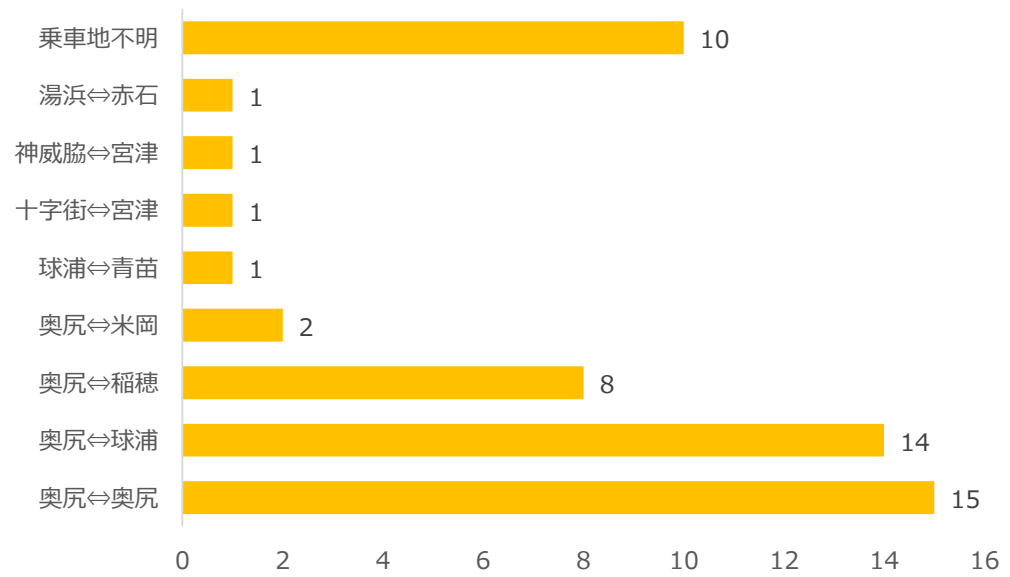
- ・ 自宅から病院、病院から自宅への乗車が最も多く、その他買い物やフェリーターミナル利用が多くみられる
- ・ フェリーターミナルや病院などは奥尻にあるため、奥尻への移動が多い



【目的別】



【エリア別】



3-7.アンケート結果

アンケート回答者数：30名

利用者：女性18名 男性4名 不明8名

年 代：70代が最多11名 次いで80代が6名

高齢者の利用が多いが、20代・10代以下でも計4名利用しており
幅広い世代が利用している



No.	ご意見ご感想
1	入院している父の洗濯を持ってバスの利用が大変なので助かる
2	飲み会が19:30くらいに終わるので、そのくらいの時間に利用できると嬉しい
3	あと1時間遅くまで予約できると嬉しい
4	足が悪くて歩けないので、すごく助かる
5	バスで買い物をして運べなかったから、気にしなく買い物ができて助かる
6	地元ハイヤーに電話したが予約いっぱいと言われヤマトに電話したら対応していただいた
7	フェリーと既存路線バスの運行時間がうまく合わない時に利用しやすくありがたいです
8	たいへん便利です。ありがとうございました。
9	以前娘がフェリーで帰ってきたとき、タクシーに断られ歩いて帰った。ライドシェアで対応してほしい
10	青苗ハイヤーに奥尻から空港までと電話したが、「それはやってない」と断られたので助かる
11	このサービスがあるのを知らなくて足が悪く困っていた。役場の方に聞いて利用。すごく助かる。これから安心！
12	移動手段がない島では助かる
13	すごい満足。助かる。料金が5,000円以上だと年金暮らしは利用しづらい
14	歩けないので、家から病院バスにも乗る距離ではないので助かる。
15	今まで歩いて病院に行っていたが、年齢とともに大変になってきたので助かる。病院バスも2時間は待てない
16	冬場にもお願いしたい
17	雨や天気の悪い日などバス降りてから家までの移動が大変なので助かる
18	球浦に住んでいて奥尻までの用を足すときに利用したい。空港までも利用したい。ハイヤーは断られている。
19	移動は整骨院。バスまで二時間待つのは辛い。今までは近所の人にらせてもらっていたが、その人も90歳になる。
20	島留学生なので、地元に戻るときや島に戻ってきたとき、今までは島親さんをお願いしていた。
21	歩けなくなってきて、どこに行くにも大変。タクシーがないから非常に助かる。これから安心。利用させてもらう。

3-8.実現に向けたロードマップイメージ（R7年度版）

R7年度は、R6年度の計画づくりから実証検証へとステップアップ
持続可能な奥尻島の交通環境の確立実現を目指す

人材育成・計画づくり

共創MaaS実証プロジェクト
～サスティナブル・アイランド奥尻の実現～
島の未来を変えるモビリティ人材育成事業

実現可能な未来の奥尻島交通を目指し、官民が一体となった事業計画を策定



Step1
2024年

- ・地域交通ニーズ調査
- ・人材育成（講義＆ワークショップ：5回開催）
- ・奥尻観光と交通の提言（事業計画策定）

ライドシェア実証運行

「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト

～一人多役でライドシェアの実現を目指す～
奥尻島民で助け合い「島のりあい」実証プロジェクト

事業化に向けて官民一体での**実証事業を展開**。



Step2
2025年

- ・予約・手配体制の運用
- ・ドライバー確保・維持体制の運用
- ・想定利用者の利用実態把握
- ・運行方式の適正把握
- ・関係者との合意形成
- ・地域経済への波及効果検証 …等

持続可能な運行体制の確立へ

2027年ホテル開業

宿泊受け入れの増加＋交通空白の解消（観光＋地域住民の課題解決）
副業による外需獲得で、観光需要の拡大により、島民の収入増を目指す



Step3
将来
展望

- ・運営主体の設置
 - ・収支モデル
 - ・マニュアル作成
 - ・人材育成 …等
- で持続可能な体制を構築

3-9.しまねこワゴン（ライドシェア車両） - 外観



3-10.しまねこワゴン (ライドシェア車両) - ヒト エリア



3-11.しまねこワゴン (ライドシェア車両) - モノ エリア



3-12.しまねこワゴン（ライドシェア車両） - 稼働の様子



4.なぜヤマト運輸がやるのか（ヤマトがやる意義）

経営理念

ヤマトグループは、社会的インフラとしての宅急便ネットワークの高度化
より便利で快適な生活関連サービスの創造、革新的な物流システムの開発を通じて
豊かな社会の実現に貢献します

誰よりも奥尻の**コト**を考え
ていて、誰よりも奥尻の
コトを知っている

奥尻に営業所を構え、
奥尻に住んでいる社員が
働いている

最小限のコストで
運用が可能である

いつも来るヤマトだから
安心感がある

奥尻営業所と島民との間には強い信頼関係があり、
セールスドライバーは**高い志を持って奥尻の課題解決**に取り組んでいる

5.最後に…

ひとつの島で生まれた挑戦をきっかけに、
我々ヤマト運輸は各地域の声に耳をかたむけ、
ローカルインサイトに基づく課題解決に向けて取り組み続ける

ヤマト運輸は荷物だけではなく
地域の未来も運ぶ



奥尻島

(参考) サツドラ様とのパートナーシップ協定締結

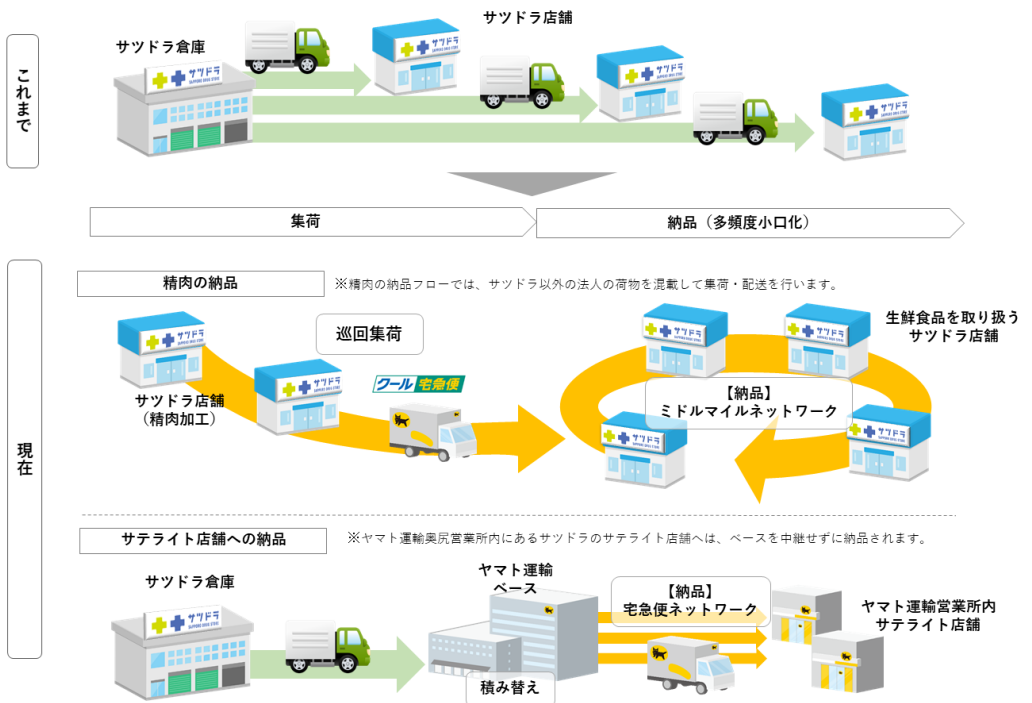
サツドラホールディングスとヤマト運輸がパートナーシップ協定基本合意書を締結
すでに実施している取り組みだけではなく、あらたな取り組みやサービスを開始することで、北海道における持続可能な地域社会の実現に貢献していきたい

サツドラホールディングスとヤマト運輸が パートナーシップ協定基本合意書を締結

サツドラホールディングス株式会社（本社：北海道札幌市、代表取締役社長 CEO：富山浩樹、以下「サツドラ HD」）とヤマト運輸株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：長尾裕、以下「ヤマト運輸」）は、パートナーシップ協定基本合意書（以下「本協定」）を 2023 年 7 月 25 日（火）に締結しました。これにより、サツドラ HD のグループ会社である株式会社サッポロドラッグストア（本社：北海道札幌市、代表取締役社長 CEO：富山浩樹、以下「サツドラ」）が運営する店舗と連携し、北海道固有の社会課題解決や持続可能な地域社会の実現を目指します。



(左) ヤマト運輸株式会社 執行役員 北海道統括 松井克弘
(中央左) ヤマト運輸株式会社 代表取締役社長 長尾裕
(中央右) サツドラホールディングス株式会社 代表取締役社長 CEO 富山浩樹
(右) 株式会社サッポロドラッグストア 執行役員 店舗開発本部 部長兼 店舗企画部ゼネラルマネージャー 大内秀伸



NEWS RELEASE



2025年8月29日
奥尻町
ヤマト運輸株式会社

北海道奥尻島で、ヤマト運輸のセールスドライバーによる客貨混載型の公共ライドシェア「島のりあい」の実証運行を開始 離島の時間的「交通空白」を解消し、地域住民や観光客の移動利便性を向上

奥尻町（所在地：北海道奥尻町、町長：新村 卓実）とヤマト運輸株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：阿波 誠一、以下：ヤマト運輸）は、2025年8月29日（金）から、ヤマト運輸の集配用ワゴン車両を活用した客貨混載型の公共ライドシェアの実証運行を開始します。物流と旅客輸送を組み合わせた柔軟な運行体制を構築し、地域住民や観光客の移動を支える新たな交通手段として、離島特有の時間的「交通空白」の解消を目指します。

本実証は、国土交通省の「『交通空白』解消緊急対策事業（令和7年度『交通空白』解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト）」の採択を受けた「奥尻島民で助け合い『島のりあい』実証プロジェクト」の一環として実施します。町民が副業などでドライバーを担う住民参加型モデルの実証も2025年9月中に開始する予定です。



1. 奥尻町が直面する時間的「交通空白」

奥尻町は、北海道南西部の日本海に浮かぶ離島で、人口は約2,100人です。高齢化率は約41%にのぼり、日常の買い物や通院、観光客の周遊などにおける移動手段の確保が喫緊の課題となっています。現在、島内のタクシーは1社のみで、バスは1日9便と限られ、時間的「交通空白」が顕在化しています。こうした状況を受け、奥尻町とヤマト運輸は「公共ライドシェア制度（自家用有償旅客運送）」を活用し、地域にある車両・人材・物流の力を掛け合わせることで、持続可能な移動支援の仕組みづくりに取り組みます。

2. 実証運行の位置づけ・目的

- 本実証は、以下を主目的として実施します。
 - ・移動ニーズの把握（時間帯・エリア・利用目的・対象者などの実態を可視化）
 - ・運行スキームの検証（配車・予約受付、ドライバー体制、運行管理・安全体制などを確認）
 - ・費用構造・運賃設計の検討（無償期間の利用実績を踏まえ、本格運行時の利用料金体系・ドライバー報酬設定などを整理）
- ・「一人多役」モデルの可能性の検証（町民ドライバーの参加形態・育成手法・資格要件などを確認）

3. 実証運行の概要

- ・期間：2025年8月29日（金）～2025年12月末（予定）
- ・運行時間：8:00～19:00
- ・運賃：実証期間中は無償で運行
- ・運行車両・ドライバー：
 - ①ヤマト運輸の集配用ワゴン車両 ※2025年9月中に一般貨物自動車運送事業許可取得予定
ヤマト運輸のセールスドライバーが日中の業務時間等の空き時間を活用し、客貨混載で運行
 - ②町管理車両または町リース車両 ※2025年9月中に開始予定
町民ドライバーが副業・地域貢献として参加し、主に夕方～夜間帯の観光・生活移動に対応
- ・利用者：奥尻町民・観光客など
- ・運行エリア：奥尻島内全域
- ・予約方法：電話予約のみ（受付：ヤマト運輸奥尻営業所 TEL：01397-2-2611）
- ・予約時間：8:00～19:00

- ・予約締切：翌日午前便 → 前日19:00 午後便 → 当日午前中 ※運行状況により対応できない場合あり
- ・運行管理体制：乗務開始前・終了後の点呼、アルコールチェック、運行記録、車両の日常点検など実施



■ 住民参加型モデルの実証について

「島のりあい」は、地域の移動を地域自身の担い手で支えることを重視しています。本実証では、町民が副業や地域貢献として参加できる運用モデルの可能性を検証します。制度面（資格要件・講習など）については、国の定めるガイドラインに基づき、実証を通じて運用上の留意点や受け皿の体制整備に向けた検討を行います。

5. 今後の見通し

実証結果（ニーズ、コスト、体制、制度面の整理など）を踏まえ、2026年度以降の本格運行（有償運行）に向けて、以下を段階的に構築します。

- ・運賃設定・報酬水準の決定
- ・予約・配車の委託スキーム
- ・町民ドライバーの継続的な確保・育成策

【お問い合わせ先】

奥尻町 地域政策課 TEL：01397-2-3402
ヤマト運輸株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL：03-3248-5822

【参考情報】

- ・国土交通省「自家用有償旅客運送（公共ライドシェア）ハンドブック」

URL：<https://www.mlit.go.jp/idosha/content/001851070.pdf>

- ・国土交通省 プレスリリース：「令和7年度『交通空白』解消緊急対策事業の事業採択について」（2025年4月28日）

URL：<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001887388.pdf>

- ・奥尻町とヤマト運輸のこれまでの主な連携

- 2016年3月 奥尻町とヤマト運輸（函館主管支店）が包括連携協定を締結
- 2021年11月 ヤマト運輸奥尻営業所で株式会社サツドラドラッグストア（以下：サツドラ）の食品・日用品などの販売を開始
- 2022年8月 移動販売専用車による食品・日用品などのサツドラ商品の出張販売の実証実験を開始
- 2023年8月 移動販売専用車をより大型で冷蔵・冷凍に対応した車両にリニューアルし本格運行を開始
- 2024年6月 奥尻町と株式会社セコマとヤマト運輸（函館主管支店）が災害時における応急生活物資の供給等に関する協定を締結



移動販売専用車

営業所での店舗販売

- ・ヤマト運輸 プレスリリース：「サツドラホールディングスとヤマト運輸がパートナーシップ協定基本合意書を締結」（2023年7月26日）

URL：https://www.yamato-hd.co.jp/news/2023/newsrelease_20230726_1.html

- ・ヤマト運輸 2025年正月広告：「地域ののりあい」制作所

URL：https://www.kuronekoyamato.co.jp/ytc/corp/pr/pdf/poster_2025.pdf

ご清聴ありがとうございました